

特色のある学びに関する取組紹介

学びの改革支援課

■ 「JIBUN 発 旅するラボ 2023」

高校生が身近な事柄から自ら立てた問いを自ら考える探究（探求）を通して、自分が何者であり、何を実現したいのかを明らかにすることを目的としています。長野県立大学、KDDI 株式会社、長野県中小企業家同友会とともに、高校生が所属する高校の枠を超え、他校の高校生にとどまらず、企業経営者や大学生等年長の他者との交流も図る「JIBUN 発 旅するラボ」を主催しています。

今年度は、高校生 12 名が参加、5 月 27 日（土）のキックオフキャンプを皮切りに一年間の取組を開始しました。このキャンプでは大学生や社会人と共に少人数のユニットを組んで、身の回りにある疑問や自分自身の価値観について話し合いました。参加者は対話を繰り返すことで、自分自身の新しい一面に気付き、今後の活動に期待を膨らませました。

今後は、若手経営者や地域活性化に取り組む大人などを訪ねてお話を伺い、その体験を個人やグループで深掘りするラーニングジャーニーや、オンライン上でメンバーが週 1 回集まって活動の振り返りを行うオンライン部活等を実施し、「自分を探究する旅」を続けていきます。

以下は、キックオフキャンプに参加した高校生のアンケート回答の抜粋です。

Q：キックオフキャンプでどんな自分に出会いましたか？

○人を気にする気持ちもありつつ、それに勝る『知りたい』が湧いてきたことです。怖いとか、良いことが言えなかったなとかよりも、思った事を言ってみようと思えました。また、それを聞いてもらえる環境の居心地の良さと、安心して自分の意見を持てることに、これからの活動が益々楽しみになりました。今度は、自分の意見だけでなく、話している人をより理解するにはどうしたらいいかも考えて参加できればと思います。

○知らない人たちと関わるのは初めてなのに前でたくさん話せて自分でもびっくりしました。

○考えを発信することを楽しんでいる自分に出会えました。



■ 学びのフォーラム長野「信州探Qカフェ-話そう、私の好きなこと-」

6 月 10 日（土）に県内の高校 14 校から 31 名の生徒が参加し、自分に取り組んでいる探究活動（マイプロジェクト）について相談する「信州探Qカフェ-話そう、私の好きなこと-」を、松本市で開催しました。

最初に自己紹介とアイスブレイクを行い、話しやすい雰囲気をつくり、続いて自分に取り組んでいる探究活動について話し、ファシリテータ（大学生や県内外の大人）や仲間からアドバイスを受けました。その後「先輩の話を聞く、相談する」「探究活動についての個別相談」「参加した高校生やファシリテータと話をする」といった 3 つのワークの中から各自選んで活動しました。

最後に今日の学びを振り返り、近日中に取り組むアクションについて発表、共有後、応援メッセージをお互い交換し、生徒たちは次への一步を踏み出していました。

今年度は、クラブ活動等で忙しく、対面参加することが難しい高校生に向けて、オンラインで「探究相談会」を開催しました。また、1 年間を通して、生徒、教員向けにオンラインにて、「探究相談会」「中間報告相談会」を開催。12 月、1 月には、1 年間の学びの振り返りと発表の場として「マイプロ長野県 Summit」を計画しており、探究活動について学校を超えた全県の学びの環境づくりに努めています。

